

平成 27 年

岩国市観光客動態調査
報 告 書

岩国市観光振興課

平成 27 年の観光動向について

平成 27 年の岩国市全体の観光入込客数は、前年比約 5% 増加し、3,114,875 人となり、300 万人を上回りました。

岩国市の観光入込客数の指標となる錦帯橋の年間入橋者数については、前年比約 2% 減少し、611,827 人となりました。特に 1 月、4 月、11 月は、前年比約 15% 減少し、その要因は、いずれも天候の影響を受け、初詣やお花見・紅葉狩りの期間が短くなったことが考えられます。しかし、9 月は 6 年ぶりの大型連休により、前年比 21.6% の増加となりました。

また、錦帯橋を訪れた観光バスは前年比約 20% 減少し、5,109 台となり、昨年同様、入込客数に大きく影響しています。その内、外国人バスツアーの割合は、増加しております。これは、第 23 回世界スカウトジャンボリー（7 月 28 日～8 月 8 日）の開催に加え、山口県及び広島県などと連携して、外国人旅行会社の視察やテレビ番組などの誘致に取り組んだことの効果と考えます。

また、岩国城ロープウエーや岩国城の入込客数は、対前年比 10.2% の増加となっており、岩国城ロープウエーや岩国城まで訪れることができる個人観光客が増えているものと考えられます。

そのほか、観光イベントでは、第 28 回ねんりんピックおいでませ！山口（10 月 17 日～20 日）が開催されるとともに、岩国最大の集客イベント「日米親善デー」では、3 年ぶりに航空ショーが開催されたことにより、前年比 115,000 人増加の 165,000 人となっております。

こうしたことから、平成 27 年度観光入込客数は、昨年度から約 15 万人の増加となりました。

次に、アンケート調査結果による平成 27 年の傾向についてですが、設問 1 の「来岩観光客の地域別割合」では、中四国地域の割合が高くなっております。また、設問 4 の「旅行の形態」は、ツアーの割合が減っており、夫婦・カップルの割合が高くなっています。設問 5 の「旅行で利用された交通機関」では、乗用車の割合が増え、個人旅行者が増えていると考えられます。

設問 7「泊まらない人の滞在時間」では、昨年に引き続き 4 時間未満が約 80% となっており、岩国市が通過型の観光地であることが言えます。しかしながら、4 時間以上の割合が約 2% 増加しており、ここにも個人旅行者の増加の傾向がうかがえ

ます。

設問 9「錦帯橋以外で行った場所」では、国の天然記念物である岩国のシロヘビ関連施設が第 1 位となり、希少性の高い岩国のシロヘビに対する関心の高さが伺えます。

そのほか、設問 10 の「旅行先を決めるのに最も参考にしたものは」では、昨年に引き続きインターネットの割合が増加しており、設問 10 の隣に参考として掲載している「各世代における割合」では、世代間において旅行先を決める手段に違いがあります。特に 20 歳代、30 歳代については、インターネットの割合が第 1 位となっており、スマートフォンやタブレットなどの普及により、今後もその利用が見込まれます。

こうしたことから、ホームページや SNS によるインターネットを活用した効果的な情報発信の充実を図る必要があると考えられます。

また、今後の増加が見込まれる外国人観光客への PR の実施や受入体制整備が必要と考えられます。さらには、増加傾向にある個人観光客の滞在時間の延長につながる体験型メニューの開発などが必要と考えられます。

平成 28 年の観光について

平成 28 年は、平成 30 年に「明治維新 150 年」を迎える当たり、山口県と県下市町が連携し、大型観光キャンペーン「やまぐち幕末 ISHIN 祭」を展開しているところ です。

具体的な取組みの中核として、ＪＲ 6 社との連携による「幕末維新やまぐちデザインেশョンキャンペーン」が平成 29 年 9 月～12 月に実施されることが決定され、国内の都市圏における観光 ＰＲ イベントや外国人観光客受入体制整備事業の展開が予定されており、当市としても、当キャンペーンとの連携を図りながら観光客の誘客に積極的に取り組んでまいります。

また、岩国錦帯橋空港では平成 28 年 3 月 27 日より、羽田便の増便により岩国羽田間を 1 日 5 往復、沖縄便の新規就航により岩国沖縄間を 1 日 1 往復となりました。引き続き首都圏に加えて沖縄に対して観光 ＰＲ を実施し、空港を利用した観光客の誘客に取り組んでまいります。

さらに、「岩国市観光ビジョン」（平成 27 年 8 月策定）に基づき、観光事業者や市民の方と一体となって観光振興の推進を図ってまいります。

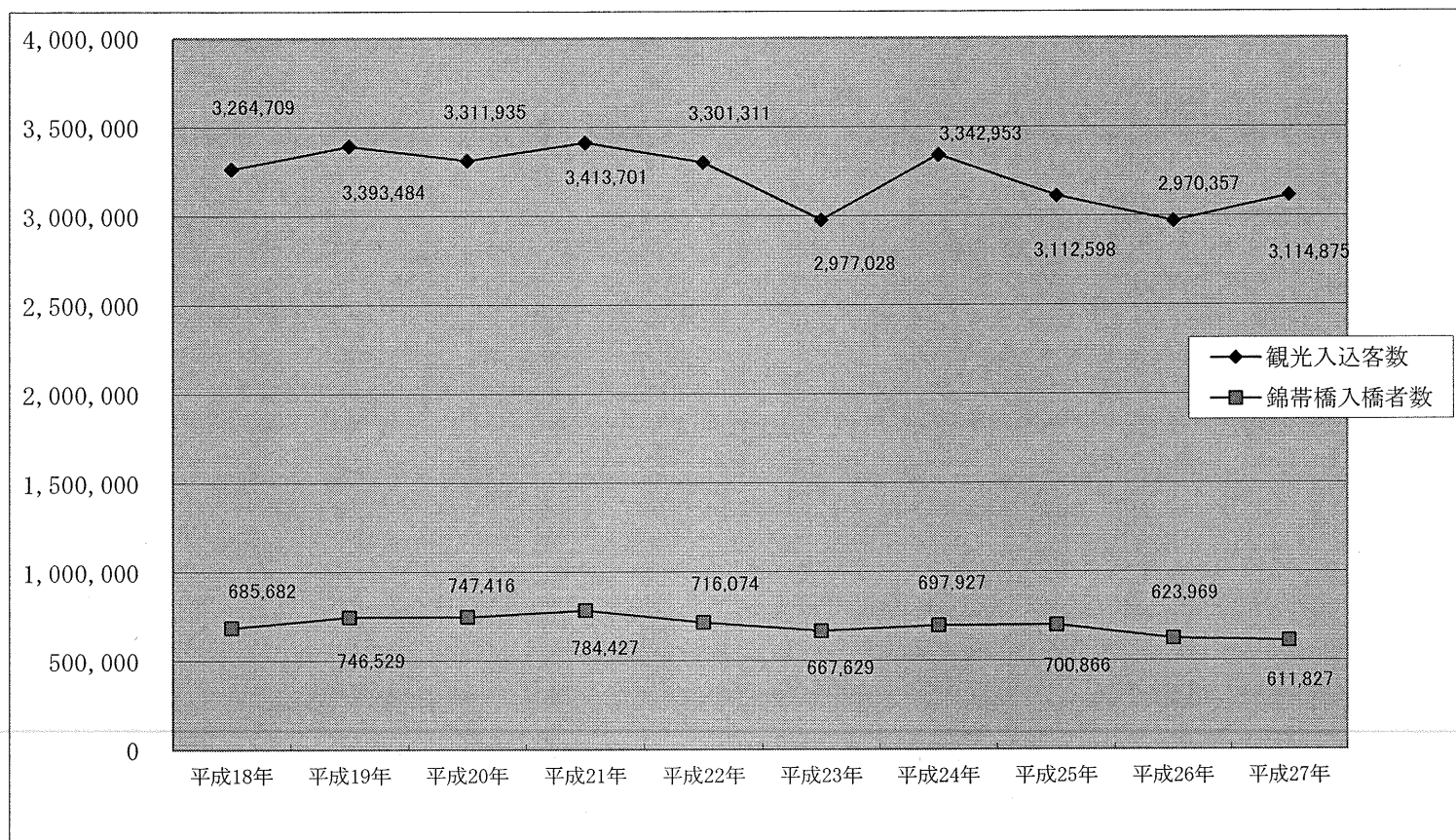
現在、「岩国観光プロモーション戦略協議会」（平成 27 年 11 月設立）を中核とし、各観光協会や商工会議所・商工会等と連携し、総合観光パンフレットの作成や、岩国錦帯橋空港を利用した誘客促進のため、岩国沖縄便利用者に対するレンタカー費用の助成や観光客の満足度の向上のため、おもてなし研修会を行っております。

また、本市では、錦帯橋周辺での古民家を活用し、体験型メニューの提供や Free Wi-fi スポットを整備し、外国人観光客も含めた観光交流施設を開設する予定です。

また、今年度は、岩国ブランドの構築・推進を図るため、市内各事業者や関係団体、市民などからなる「岩国市特産品に係る地域ブランド推進基本方針策定検討委員会」を設置し、地域全体で考え方を確立したいと考えております。

こうした施策のほか、観光ホームページやフェイスブックなど、様々なツールを活用して本市の魅力を発信するとともに、各観光協会・商工会議所・商工会・岩国観光プロモーション戦略協議会等を始めとした観光関連団体と連携し、多様化する観光ニーズに的確に対応してまいりたいと考えております。

岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
観光入込客数	3,264,709	3,393,484	3,311,935	3,413,701	3,301,311	2,977,028	3,342,953	3,112,598	2,970,357	3,114,875
錦帯橋入橋者数	685,682	746,529	747,416	784,427	716,074	667,629	697,927	700,866	623,969	611,827

※平成23年3月11日東日本大震災発生。6月19日高速道路ETC割引廃止。

※平成24年12月14日岩国錦帯橋空港開港

※平成25年8月1日貸切バスの交替運転者の配置基準改正

資料 2

過去 3 年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	平成25年	平成26年		平成27年	
			対前年比		対前年比
1 月	49,149	40,247	81.9%	30,756	76.4%
2 月	42,487	31,464	74.1%	34,102	108.4%
3 月	76,571	57,520	75.1%	57,362	99.7%
4 月	75,710	71,611	94.6%	63,537	88.7%
5 月	73,157	71,011	97.1%	68,952	97.1%
6 月	40,368	38,691	95.8%	38,825	100.3%
7 月	45,007	40,053	89.0%	36,640	91.5%
8 月	66,823	62,856	94.1%	64,608	102.8%
9 月	51,254	49,218	96.0%	59,838	121.6%
10 月	52,822	45,045	85.3%	47,949	106.4%
11 月	76,539	76,235	99.6%	66,447	87.2%
12 月	50,979	40,018	78.5%	42,811	107.0%
合 計	700,866	623,969	89.0%	611,827	98.1%

平成 27 年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

聞き取り調査（錦帯橋周辺に限る）岩国市来訪者

◎調査場所および調査日

来訪者への聞き取り調査（錦帯橋周辺）

＊平成 27 年 4 ～12 月（随時）

◎サンプル数(有効回答) 6, 4 8 3 人（昨年 5, 7 0 2 人）

調査方法

観光アンケート調査は岩国観光ガイドボランティア協会に依頼した。期間を通じて、団体、個人旅行とバランスよく聞き取り調査を実施し、サンプル数が 5, 0 0 0 人を目標に実施をしている。

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	平成26年		平成27年	
1	中国・四国	33.57%	中国・四国	35.49%
2	関東	21.97%	関東	20.70%
3	近畿	14.96%	近畿	14.87%
4	九州	13.15%	九州	14.07%
5	中部	10.86%	中部	10.06%
6	北海道・東北	4.17%	北海道・東北	3.13%
7	外国	1.32%	外国	1.68%
	無回答	0.00%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来県別ベスト10は ①広島 ②山口 ③東京 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧岡山 ⑨愛知 ⑩埼玉

H26 ①広島 ②東京 ③山口 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧岡山 ⑨愛知 ⑩千葉

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・台湾・中国・フランス・タイ・香港・ハンガリー・イギリス・オーストラリアなど29カ国

設問2：あなたの性別は

順位	平成26年		平成27年	
1	男	51.75%	男	51.70%
2	女	48.18%	女	46.86%
	無回答	0.07%	無回答	1.44%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】団体バスツアーの地域別台数

(岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より)

順位	平成26年			平成27年		
1	関東	1,615台	25.42%	関東	1,184台	23.17%
2	中国・四国	1,273台	20.04%	中国・四国	1,078台	21.10%
3	九州	1,077台	16.95%	九州	799台	15.64%
4	近畿	909台	14.31%	近畿	749台	14.66%
5	中部	709台	11.16%	中部	585台	11.45%
6	外国	401台	6.31%	外国	429台	8.40%
7	北海道・東北	369台	5.81%	北海道・東北	285台	5.58%
	計	6,353台	100.00%	計	5,109台	100.00%

中国・四国地域の増加に対して、関東・中部地域が減少している。

設問3：あなたの年齢は

順位	平成26年		平成27年	
1	60代以上	37.07%	60代以上	35.65%
2	50代	20.15%	50代	19.90%
3	30代	14.92%	30代	15.46%
4	40代	13.52%	40代	13.74%
5	20代	12.87%	20代	12.85%
6	10代	1.35%	10代	1.48%
	無回答	0.12%	無回答	0.92%
	計	100.00%	計	100.00%

来岩観光客の年齢割合は昨年に引き続き60代が1位、50代が2位となっている。

設問4：旅行の形態（同行者）は

順位	平成26年		平成27年	
1	家族	28.67%	家族	28.55%
2	夫婦・カップル	24.20%	夫婦・カップル	28.19%
3	友人	22.73%	友人	20.67%
4	ツアー	14.03%	ツアー	11.28%
5	その他	9.63%	その他	9.88%
6	修学旅行	0.72%	修学旅行	0.77%
	無回答	0.02%	無回答	0.66%
	計	100.00%	計	100.00%

ツアー旅行の割合が下がっており、約80%以上が個人旅行であることがわかる。

設問5：旅行に利用された交通機関は

順位	平成26年		平成27年	
1	乗用車（2輪含む）	47.66%	乗用車（2輪含む）	51.70%
2	列車	27.81%	列車	25.53%
3	バス	12.22%	バス	11.86%
4	航空機	11.54%	航空機	10.18%
5	その他	0.70%	その他	0.54%
	無回答	0.07%	無回答	0.19%
	計	100.00%	計	100.00%

乗用車の利用割合が高まっており、個人旅行の割合が増えていることが考えられる。

設問6：岩国での宿泊は

順位	平成26年		平成27年	
1	泊まらない	91.37%	泊まらない	90.64%
2	泊まる	8.61%	泊まる	8.07%
	無回答	0.02%	無回答	1.29%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年同様、宿泊をしない割合が約90%を占めており、岩国は依然として通過型の観光地である。

設問7：泊まらない人の滞在時間

順位	平成26年		平成27年	
1	1～2時間	43.55%	1～2時間	43.21%
2	2～4時間	39.41%	2～4時間	40.69%
3	1時間未満	5.58%	4時間以上	5.37%
4	4時間以上	3.38%	1時間未満	3.76%
	無回答	8.08%	無回答	6.97%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年に引き続き4時間未満が約80%を占めている。

設問8：岩国での使用金額

	平成26年		平成27年	
1	3,000円未満	40.73%	3,000円未満	40.74%
2	1,000円未満	25.15%	1,000円未満	27.63%
3	5,000円未満	20.22%	5,000円未満	18.46%
4	10,000円未満	7.33%	10,000円未満	6.43%
5	15,000円以上	4.45%	15,000円以上	2.08%
6	15,000円未満	2.07%	15,000円未満	4.37%
	無回答	0.05%	無回答	0.29%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年に比べ順位の変動はなく、5,000未満が約80%を占めている。

設問9：錦帯橋以外で行った場所（新設）

順位	平成26年	平成27年
1		白蛇神社・白蛇観覧所 34.38%
2		岩国城 26.01%
3		ロープウエー 24.65%
4		岩国徴古館・吉川史料館・岩国美術館 8.10%
5		なし 4.97%
6		宇野千代生家 0.67%
7		美川ムーバレー・とことこトレイン 0.53%
8		温泉 0.22%
		無回答 0.47%
		合計 100.00%

シロヘビ関連施設が1位となっており、関心の高さがうかがえる。

設問10：旅行先を決めるのに最も参考にしたものは

順位	平成26年		平成27年	
1	旅行雑誌・ガイドブック	25.66%	旅行雑誌・ガイドブック	24.27%
2	インターネット	17.71%	インターネット	21.05%
3	その他	17.01%	その他	19.41%
4	旅行代理店を通じて	16.13%	旅行代理店を通じて	13.06%
5	友人の話	13.26%	友人の話	11.19%
6	テレビ・ラジオ	6.24%	テレビ・ラジオ	6.85%
7	パンフ・ポスター	3.81%	パンフ・ポスター	3.79%
	無回答	0.18%	無回答	0.38%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】各世代における割合

手段	10代	20代	30代	40代	50代	60代	無回答
雑誌・ガイドブック	14.14%	21.46%	23.82%	25.95%	27.44%	23.32%	27.94%
インターネット	11.11%	28.65%	29.66%	21.95%	17.55%	16.85%	5.88%
その他	45.45%	21.91%	19.09%	17.74%	17.76%	18.98%	26.47%
旅行代理店	12.12%	3.60%	6.02%	13.54%	14.08%	19.02%	11.76%
知人に聞いて	12.12%	15.62%	10.94%	8.82%	9.17%	11.68%	13.24%
テレビ・ラジオ	5.05%	5.06%	6.95%	7.90%	9.39%	5.51%	11.76%
パンフ・ポスター	0.00%	3.48%	3.15%	3.90%	4.12%	4.13%	2.94%
無回答	0.00%	0.22%	0.37%	0.21%	0.51%	0.50%	0.00%
計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

インターネットの割合が昨年に比べ約3%増加しており、旅行雑誌・ガイドブックと並ぶプロセスとなっている。20代、30代においてはインターネットを閲覧して旅行先を決めた方が一番多く、旅行代理店を通じて決めた方は少ない。一方、60代以上においては、旅行会代理店が多く、世代間で旅行先を決めるプロセスに違いがあることがよくわかる。

設問11：岩国に来る直前に立ち寄ってきた観光地は

順位	平成26年		平成27年	
1	自宅	43.86%	自宅	45.23%
2	宮島・広島	38.50%	宮島・広島	35.79%
3	山口県内	12.10%	山口県内	12.79%
4	山陰	2.09%	九州	1.91%
5	九州	1.49%	その他	1.80%
6	その他	1.33%	山陰	1.64%
7	四国	0.58%	四国	0.35%
8				
9				
	無回答	0.05%	無回答	0.49%
	計	100.00%	計	100.00%

設問12：これから行く観光地は

順位	平成26年		平成27年	
1	自宅	36.63%	自宅	36.53%
2	宮島・広島	36.57%	宮島・広島	33.40%
3	山口県内	19.68%	山口県内	23.59%
4	九州	2.68%	山陰	2.01%
5	山陰	1.93%	その他	2.07%
6	その他	1.88%	九州	1.58%
7	四国	0.58%	四国	0.64%
8				
9				
	無回答	0.05%	無回答	0.18%
	計	100.00%	計	100.00%

昨年に引き続き、問11、問12ともに「自宅」が多い。次いで「宮島・広島」の割合多く、広島・宮島との結びつきが強いことが分かる。問11では「自宅」の割合が増えており、近距離の観光客が車で訪れていることや、関東からの観光客が岩国錦帯橋空港を利用していることが考えられる。問12では「山口県内」の割合が4%増えており、新たに世界遺産となった萩市などへの旅行が増えていることが考えられる。

設問13：岩国で不満に感じた点

順位	平成26年		平成27年	
1	とくになし	86.75%	とくになし	82.50%
2	休憩施設が少ない	5.47%	休憩施設が少ない	5.82%
3	観光スポットへの案内標識が不十分	2.63%	トイレが足りない・場所がわからない	4.32%
4	トイレが足りない・場所がわからない	2.12%	観光スポットへの案内標識が不十分	4.04%
5	交通の便がよくない	1.81%	交通の便がよくない	1.75%
6	駐車場が足りない・場所がわからない	0.75%	駐車場が足りない・場所がわからない	0.83%
	無回答	0.47%	無回答	0.74%
	計	100.00%	計	100.00%

設問14：来岩回数

順位	平成26年		平成27年	
1	初めて	64.90%	初めて	64.94%
2	2回目	18.12%	2回目	17.52%
3	4回目以上	8.49%	4回目以上	8.88%
4	3回目	8.44%	3回目	7.97%
	無回答	0.05%	無回答	0.69%
	計	100.00%	計	100.00%

「初めて」が約60%を占める。満足度を向上させることにより、更なるリピーター創出の可能性はある。

依然として「休憩施設が少ない」が多く、更なる満足度向上に努めたい。

設問15：錦帯橋の何に興味があるか（新設）

順位	平成26年		平成27年	
1			景観	65.03%
2			歴史	15.11%
3			構造	14.51%
4			なし	5.15%
5			無回答	0.20%
			計	100.00%

「景観」が約60%を占める。歴史や構造に関するPRにより更なる観光客の増加が見込まれる。

設問16：錦帯橋が世界遺産登録を目指していることを知っているか

順位	平成26年		平成27年	
1	知らない	75.18%	知らない	74.21%
2	知っている	24.75%	知っている	25.39%
	無回答	0.07%	無回答	0.40%
	計	100.00%	計	100.00%

知っている方は依然として約20%にとどまっている。世界遺産登録に向けて機運を盛り上げるため更なるPRに努める必要がある。